

Parti

パーティ

特集

広がる「子ども食堂」〜地域のつながりの場へ…2

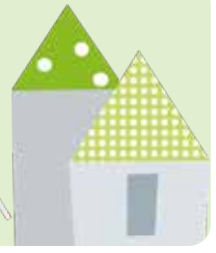
講座・イベント れぽ〜と	5
ち・い・き Pick up!	11
相談ルームから	12
情報ライブラリーから(本の紹介)	13
平成29年度前期講座案内	14
インフォメーション	16
✦ めざせカジダン・おススメレシピ	11
✦ おすすめシネマ	13



パーティとは？
 “参加・参画”を意味する
 Participacion (スペイン語) から引用された、
 とちぎ男女共同参画センターの変称です。

広がる「子ども食堂」

～地域のつながりの場へ



最近、全国・県内でも「子ども食堂」が増えています。子どもの貧困対策として注目される子ども食堂ですが、食育や学習支援、地域のつながりの場としても広がっています。

学習支援

塾に行けないなど学習環境のない子どもたちに日常的な学習の場を提供

食の提供

育ち盛りの子もたちに栄養バランスのとれた食事を提供

子ども食堂の
多様な役割

居場所づくり

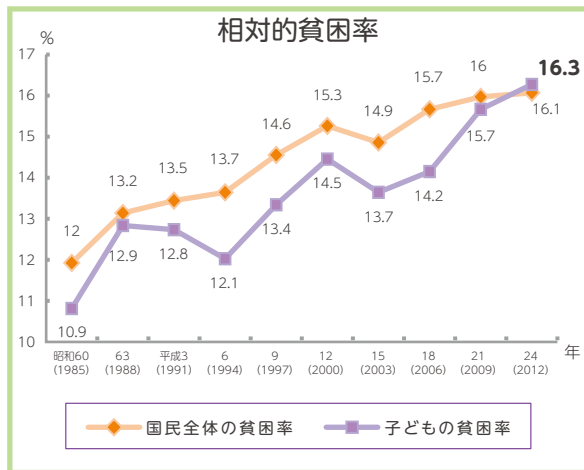
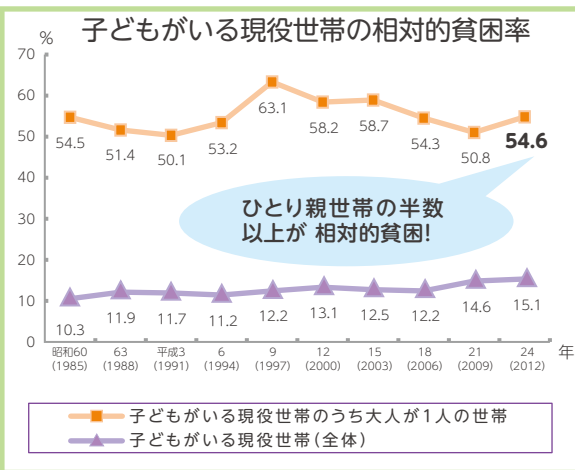
「人とのつながり」によって貧困を防ぎ、誰もが安心して過ごせる居場所を提供

相談

問題を抱える子どもや親の相談にのり、必要な支援につなげる

子ども食堂とは

経済的な事情等により、家庭で十分な食事がとれない等、様々な事情を抱えた子どもたちに栄養バランスの取れた食事を無料や低価格で提供する民間発の取り組み。地域の人々の触れ合いの場としても、全国各地で取り組みが広がっています。育ち盛りの子もたちに十分な栄養をとってもらうとともに、大人数で食卓を囲む楽しさを知ってもらうという狙いもあります。



(出典) 厚生労働省「国民生活基礎調査」

(注) 相対的貧困率・・・OECD(経済協力開発機構)の作成基準に基づき、年収が国民の年収の中央値の半分に満たない国民の割合を指す。日本では年間所得122万円以下であれば「相対的貧困」に分類される。



「子ども食堂」では、食や学習環境を整えることで、このような貧困の連鎖を防ぐ役割も担っています。

近年、日本では子どもの貧困率が高くなっています。厚生労働省によると、平均的所得の半分未満で暮らす「相対的貧困」の子どもの割合は2012年に16.3%と過去最悪を更新し、子どもの6人に1人が貧困状態にあります。

また、「ひとり親世帯」では半数を超える54.6%が相対的貧困の状態にあります。なかでも母子家庭は、非正規雇用が多いため、貧困から抜け出せないのが現状です。そうした母子家庭の貧困が、子どもの貧困につながっています。

日本での貧困率の推移～子ども食堂で貧困の連鎖を防ぐ



「子ども食堂」ってどんなところ？



宇都宮市昭和で、一般社団法人 栃木県若年者支援機構の運営により毎週月曜日の夜に開催されている「昭和子ども食堂」取材しました。(取材日2016年12月)



15:30～

ボランティアが集まり、調理スタート。
食材のほとんどは地域の方やボランティアの寄付によるもの。用意されたレシピを見ながら、育ち盛りの子どものために栄養満点の料理を作ります。
限られたスペースで20～30人分の食事を作るため、ボランティアの方たちは休むことなく調理をしています。



18:00～



昭和子ども食堂オープン。利用者の方が続々と食事をしに訪れます。料金は、子ども300円、大人500円です。支払いが困難な場合は無料とし、その分は寄付金で賄います。栃木県若年者支援機構の学習支援教室で勉強を終えた子ども、母子家庭の親子など、様々な人たちが食卓を囲みます。



3

特集 広がる「子ども食堂」～地域のつながりの場へ



19:00～



食後は、子どもたちはキッズルームでボランティアと遊び、親は互いに育児の悩みを共有・相談するなど、親同士・子ども同士の交流の場となっています。ボランティアや様々な親子と交流する中で、いろいろな問題や困難を発見できることも。本食堂は、食事提供の場だけでなく、地域とのつながりの場として、利用者はもちろん、ボランティアにとっても大切な居場所となっています。

昭和子ども食堂 代表 荻野 友香里さん インタビュー

Q 子ども食堂を始めたきっかけは？



— 栃木県若年者支援機構ではこれまで引きこもり等の若者たちを支援してきました。日々若者の支援を行う中で、もっと早い段階から、彼らをサポートできる場所があればと思いました。

Q これからの展望をお聞かせください。

— サマーキャンプなど、学習・食・体験の場も提供していきたいです。また、子ども食堂をはじめたい方へのサポートも予定しています(2017年2月22日「子ども食堂サポートセンター・とちぎ」を開所)。本当に支援を必要としている人たちが来られるような子ども食堂を、各地域に増やしていきたいです。



昭和子ども食堂 利用者の声

◆お子さんと何回か来られているお母さんに聞いてみました。



Q 実際に利用してみて、暮らしやお子様に変化はありましたか？

— 夫の帰りが遅く、いつも子どもと2人きりの食事で寂しいのですが、ここではにぎやかな雰囲気の中で食事ができ、子どもも、みんなで食事をするのが楽しいようです。普段あまり食べないものでも残さず食べてくれます。食事だけではなく、他のママたちと情報交換することができて嬉しいです。

Q 子ども食堂に興味を持っている方たちへメッセージを

— はじめは、わたしたちも行っていいのかな？と戸惑いましたが、誰でも気軽に利用できると言われて、思い切って利用してみました。とても居心地がよく、子どもも私も、毎週楽しみにしています。



①昭和こども食堂★

宇都宮市昭和2-7-5
しごとや2階



開催日時：毎週月曜 18:00～20:00

T E L : 028-678-4745

U R L : <https://syowa-kodomo.jimdo.com>

参加料：こども300円（中学生まで）大人500円

※お支払いが難しい方はご相談ください。カラフル券あります。

一般社団法人栃木若年者支援機構運営のこども食堂です。子どもたちが地域の中で育つ居場所の一つとして子どもから大人まで利用したり、ボランティアに来る若者の体験の場としても活用しています。

②みねこども食堂★

宇都宮市峰3-31-48
ドリームシティーヒロ 1階



開催日時：毎週月曜日～金曜日 15:00～21:00

T E L : 080-3454-0141

参加費：小学生50円、大人200円。要連絡。

宇都宮大学まなびの森保育園園長で市議の金崎美菜さんの呼び掛けで、市内の保育関係者や地域住民が運営委員会を組織し開設した「みねこども食堂」。平日毎日開き、手作りの夕食を提供。食事のほか、学習や洗濯支援、入浴にも対応しています。
*子どもたちと一緒に、地域の方々もご利用いただいておりますので、ぜひ一度お越しください。

県内の子ども食堂と支援団体 紹介

★・・・子ども食堂

◆・・・支援団体



※バルティでH28.12.1現在で把握できた団体のみ掲載

③はぐくみ食堂(ここからいふ広場)★

宇都宮市雀の宮4-26-52



開催日時：毎月第1～第3木曜日 17:00～20:00

T E L : 028-688-8946

E-mail : info@cocokalife.com

U R L : <http://cocokalife.com/>

参加料：こども 300円 未就学児 無料(カンパ)
おとな 1000円 (65才以上 600円)

はぐくみ食堂では、子育て中のママたちが、安心して子連れでご飯を食べに来ることが出来る居場所であること、化学調味料不使用の自然食品、オーガニック食品などで、安心・安全な食事提供をすることを大切にしています。(アレルギーにも対応しています)

④認定NPO法人とちぎボランティアネットワークフードバンク宇都宮◆

宇都宮市埴田2-5-1 共生ビル3階



受付時間：火曜日～土曜日 10:00～18:00

T E L : 宇都宮028-622-0021 大田原0287-48-6000

日光0288-26-9605 那須烏山0287-88-2044

E-mail : tvnet1995@ybb.ne.jp

U R L : tochiginet.com

フードバンク宇都宮・大田原・日光・那須烏山などの活動を通して生活困窮者への食品支援を行っています。特に学齢期にある低所得者母子家庭への継続的な食品支援と困りごと相談に力をいれています。

⑤がじゅまるの家★

足利市伊勢町1-2-7



開催日時：毎月第3木曜日 17:30～20:00

T E L : 090-5443-0860

E-mail : medical-sp@nifty.com

U R L : <http://blog.goo.ne.jp/big-tree-2015>

参加費：こども 無料 16歳以上 500円

「NPO法人 青少年育成サポート」が運営する子ども食堂。心の相談・子ども育成支援・いじめ問題・薬物問題・家族問題など、飲食業だけではなく、子ども育成にも力を入れています。

⑥こども食堂ひまわり★

栃木市城内町2-17-23
特別養護老人ホーム蔵の街ひまわり内



開催日時：毎月第2土曜日 8:00～17:00

T E L : 0288-21-8807・21-8808

E-mail : sweethome-kura@eagle.ocn.ne.jp

参加費：300円

子どもたちを地域のネットワークで支え、安心して過ごせる居場所の一つとして開設。手作りの温かい食事と遊び、そして子どもたちの学習の不安を解消すべく栃木市内の諸団体の協力のもと、小・中学生を対象に支援を行っています。

⑦きりふりコイコイ食堂★

(元・日光こども食堂～まんなか笑顔のみんなのおうち～)
日光市所野1541-50



開催日時：不定期金曜日 11:00～13:00

T E L : 0288-25-7021

E-mail : ouchi.nikko@gmail.com

U R L : <https://moh-moh.jimdo.com/>こども食堂/

参加費：こども 300円 中学生から500円(1日10名まで)

経済的理由などで食事が摂れない子どもたちに、温かいご飯と居場所を提供する「日光・こども食堂」からスタート。現在では「きりふりコイコイ食堂」と名前を変更し、地域の老若男女どなたでも気軽に参加できる食堂として活動しています。

⑧NPO法人「だいじょうぶ」◆

日光市今市1659-10
子どもと親の相談室内



受付時間：毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

T E L : 0288-21-2119

E-mail : hope@npo-daijobu.com

U R L : <http://npo-daijobu.com/index.html>

虐待や貧困、親の病気などで安心して生活できない子どもと家庭に寄り添います。相談事業を中心に、育児や家事の訪問支援を行ったり、居場所「ひだまり」では、子どもたちを放課後あずかり、温かい食事や洗濯、入浴などの支援をしています。

⑨こどもクラブ「シリウス」◆

小山市神鳥谷(ヒトノヤ)931-3
小山市役所神鳥谷庁舎2階



受付時間：月曜日～金曜日 10:00～16:00

T E L : 0285-24-5192

U R L : <http://www.survivalnetlife.org/>

女性の人権を守るという視点にたち、女性と子どもの支援活動を行っている、小山のサバイバルネット・ライフが運営するこどもクラブ。食事の提供、入浴支援などの暮らしのサポートの他、女性のための相談やカウンセリング、支援を必要としている女性とこどものための夏合宿なども行っています。

⑩キッチンとまと★

大田原市中央1-3-15
トコトコ大田原2階 親子ふれあいキッチン



開催日時：第2、第4土曜日(月2回) 午前11時～午後4時

(食事時間：12時～13時頃)

T E L : 090-4741-1686 (永森)

参加費：こども 200円 大人 300円

大事にしたい「家庭の味」を伝えるために子どもたちも参加して、みんなで楽しく作って楽しく食べています。いろいろな事情を抱える子どもの居場所。学習支援も行います。フードバンク大田原も食材提供と運営支援をしています。

⑪NPO法人キッズシェルター

おひるごはんの会★
那須塩原市高柳2-121



開催日時：毎週土曜日 11:30～13:30

(夏休み等の長期休暇は土曜日と水曜日)

T E L : 090-7193-2450 (代表：森田)

E-mail : kids-shelter@tiara.ocn.ne.jp

U R L : http://www.keitsx.com/k_shelter/index.html

参加費：無料

虐待の予防活動を含んだ子育て支援活動として、西那須野ロータリークラブの協力を得て開設し、食材等の提供を受け、地域のボランティアの協力で、お昼ご飯つき子どもの居場所(こども食堂)を行っています。地域の人と一緒に食べることによって孤立した子育てから、繋がりを作りたいと思っています。

⑫Makanaこども食堂★

河内郡上三川町上三川5067-12
(上三川の家)



開催日時：毎週水曜日・金曜日 17:00～20:00

T E L : 090-3245-5243 (担当：菊地)

E-mail : makana.kaminokawa@gmail.com

U R L : <http://makanakaminokawa.wixsite.com/makana2015>

参加費：幼児無料 こども300円(小学生～中学生) 大人500円

県内でいち早くオープンしたこども食堂。親子で楽しめるイベントや子どもたちが成長できる居場所。料理に使用する調味料は、化学調味料無添加、食物アレルギーにも対応しています(事前にお問い合わせください)。キッズコーナーもありますので、食後は子どもたち同士で楽しく遊べます。その間、大人同士のんびり会話を楽しめます。

⑬Ozeこども食堂・学習広場★

下都賀郡壬生町幸町3-3-8



開催日時：毎週月曜日・木曜日 17:00～20:00

T E L : 0282-28-6740

E-mail : frank8341des@gmail.com

U R L : <http://www.safety-life.or.jp/>

参加費：こども 無料 大人 300円

(1日最大20食を用意しております。)

NPO法人 セイフティライフ運営のこども食堂。子どもたちの居場所作り、みんなで楽しい食事、無料インターネット学習などを行っています。子ども1人でも来られる安心かつ低額料金のお店です。食を通じていろいろな環境の人と出会い仲良くなれる居場所作りを心掛けています。

全国的に広がりを見せている子ども食堂ですが、自分の住む地域には子ども食堂がなく、行きたくても行けないという子ども達もいます。子ども食堂には、ボランティア、寄付、運営と多様な関わり方があります。子どもたちの居場所が各地域に増えるよう、支援を始めてみませんか？
子ども食堂の運営や詳しい情報についてはこちら→「こども食堂ネットワーク」 URL : <http://kodomoshokudou-network.com/>

「かえる、ささえる、つながる ～みんなの笑顔へ～」 フェスタ in パルティ2016を開催しました

11月19日（土）「かえる、ささえる、つながる ～みんなの笑顔へ～」をテーマに、フェスタ in パルティ2016を開催しました。

誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指して、パルティを拠点に県内で元気に活動する44の団体・グループが日頃の成果を発表しました。

男女共同参画を考える発表や展示、親子で一緒に楽しめる昔ながらの遊びやおもちゃ作り、さまざまな手作り雑貨、男性陣が腕をふるう男の焼きそばや手作りフライド・ポテト、他にもお弁当、パン、焼き菓子などの販売、県内で女性の活躍推進に取り組む企業の紹介、イクメン応援コーナーなど、多彩な企画が盛り込まれました。

この日は、子どもから大人までさまざまな世代が交流を深め、元気と笑顔があふれるフェスタとなりました。



男女共同参画を考える！発表や企画



ゆう企画

身近で感じるジェンダー問題に関する展示



とちぎつばさの会

教育・福祉・働き方・子育て等の国際比較発表



栃木県女性団体連絡協議会

選挙に関するさまざまな問題点を考察



自分力アップ「和み」

「自治会長」をめぐる、ある家庭の日常の1コマから～寸劇発表



ラ・ポリティクスとちぎ

「クオータ制度」についてのまとめと展示



次世代2011チョコレート

日本女性会議についてのまとめと発表

子育て支援の発表・展示・体験



となりのグランマ

子育て支援団体によるフェスタ当日の託児



初茜

松ぼっくりを使ったクリスマスツリー作り



ちゅうりっぷ「宇都宮市家庭教育オピニオンリーダー会」

紙コップを使った「myけん玉」作り

パルティコーナー



とちまるくんも会場に来てくれました！



県内の女性の活躍推進・協賛企業の展示



「イクメン応援CM」アンケートに答えた方に、イクメングッズをプレゼント

とちぎ女性活躍推進プロジェクト

女性の活躍がTOCHIGIをもっと元気にする!!



平成28年度に実施した「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」について報告します。

「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」は、平成26年度から平成27年度まで実施してきました「TOCHIGIで輝く☆働くウーマン」プロジェクトを継承しつつ、連携体制を強化し、取り組み内容の充実を図ったものです。

誰もが自らの希望に応じた形で職業生活と家庭生活の両立ができる、働きやすい職場を増やしていくために、企業や団体等と連携しながら、とちぎの女性を応援する様々な取組を実施しました。

とちぎ女性活躍応援団の設立に伴う「とちぎ女性活躍応援団キックオフ大会」の開催、女性経営者やキャリアの先輩などを講師に迎えたセミナーやキャリア講座など、とちぎ男女共同参画財団、経済団体、金融機関、教育機関などと連携しプロジェクトを展開しました。

公開講座

「希望のもてる未来へ 男女共同参画による地域づくり」

講師：慶応義塾大学法学部教授

元総務大臣 前鳥取県知事 片山 善博 さん



▲男女共同参画への共通理解を持ち、地域で実践を!

多様な働き方や女性活躍推進への理解が広まりつつある今、地域や会社でも若者や女性の活躍の場が広がってきています。

男女共同参画社会を、「老若男女一人ひとりが性差に関係なく能力を発揮できる社会」であると説明された片山さん。その実現には、男性に本質を理解してもらうことが近道であること、男女共同参画への共通理解を持ち地域で実践することが大切だと語られました。

また、鳥取県知事時代に、女性が務まらないとされていた財政課の労働環境を改善した例を紹介。どんな仕事でも性別に関係なく担えるよう、役所や企業の中核から変えていくべきだと訴えられました。さらに、家庭でのゴミ出し当番や、お子さんの入浴方法など、片山さんご自身のライフスタイルや子育てエピソードも披露。子どもにも地域や家庭の役割をシェアさせることが大切と話されると、大きくうなづく来場者も多く、会場全体で課題を共有し、理解を深める場となりました。

受講者からは、「経験を例に挙げて説明されたので分かりやすかった」、「男女共同参画社会について理解できただけでなく、地域や家庭での活かし方も学べた」との感想が寄せられました。

8月

とちぎ女性活躍応援団 キックオフ大会 ～オールとちぎで未来を変える～



▲応援団「行動アピール」を全員で唱和



▲議論が飛び交ったパネルディスカッション

9月14日、知事をトップとしたオール栃木体制で女性の活躍を支援する「とちぎ女性活躍応援団」が設立され、設立を記念してキックオフ大会が行われました。

知事は、大会の冒頭で「女性の活躍を促進し、すべての県民がいきいきと輝く、暮らしやすい社会を実現したい」とあいさつ。そのためには、企業や団体、行政など、あらゆる機関が連携して機運を醸成することが必要だと述べました。

その後、出席者全員で応援団「行動アピール」の唱和や、女性の活躍や働き方改革についての講演、パネルディスカッションが行われ、参加者は「女性がいきいきと活躍できる」とちぎ」の実現に向け、決意を新たにしていきました。

とちぎ女性活躍応援団

とちぎ女性活躍応援団に登録しませんか？

女性の活躍や働き方改革と一緒に取り組んでいただける県内所在の企業・団体を募集しています。

詳しくは、とちぎの女性活躍応援サイト「とちぎウーマンナビ」内の、とちぎ女性活躍応援団のページをご覧ください。

※登録は で検索

あるいは、右のQRコードからアクセス！



栃木県庁イクボス宣言

9月

翌日15日には、「とちぎ女性活躍応援団」の設立を受け、福田知事と県幹部職員による「栃木県庁イクボス宣言」が行われました。福田知事らは、宣言書に署名し、「仕事と家庭の両立を応援するイクボスになること」「県内の企業や団体にイクボスを増やすため積極的な働きかけをすること」などを宣誓しました。



▲「イクボス宣言」を行った知事と県幹部職員

※イクボスとは？ 部下のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しめる上司（経営者・管理職）のことをいいます。

女性活躍ネットワーク事業

6～11月



この事業は、工業団地等で働く業種、年齢、経験年数や職位の異なる女性同士が交流し、情報交換のためのネットワークづくりをするもので、栃木県中小企業団体中央会と連携し、昨年度から実施しています。今年度は宇都宮市、佐野市、真岡市の3ヶ所の工業団地で、各5回、交流会や研修会を開催しました。

アドバイザーとしてスマイルコミュニケーション代表の小林里江さんに関わっていたことで、コミュニケーションが円滑になり、参加者自ら設定した職場環境の改善等のテーマについて毎回活発に意見交換が進められました。

同じ団地で働いていても交流の少なかった参加者たちでしたが、「他企業で働く女性も同じように悩んでいると知り、頑張ろうと思えた」「他企業での取組が参考になった」との声が聞かれ、働くことに対するモチベーションのアップのためにも、今回できたネットワークをぜひ継続してほしいと思いました。



▲報告に真剣に耳を傾ける受講生たち



▲活発な交流が行われました！

7月9日に同時にスタートした「とちぎウーマン応援塾（全6回）」と「男女共同参画地域活動推進講座（全4回）」の受講報告会・交流会を、10月22日に合同開催しました。お互いの講座の学びを共有し、刺激し合うことで今後の活動への意欲を高め、市町関係者との繋がりを強めることを目的に開催しました。

事務局による講座概要報告の後、それぞれの講座受講者から各2名が発表を行いました。「男女共同参画について理解を深めたい」、「様々なことを学び地域に還元したい」といった熱い参加動機他、「地域の中で人と繋がる事が、自分のやりたい事を進めるきっかけになる」、「仲間づくりが町づくりに繋がる」といった講座を受講して気づいたことなどの発表がありました。

続いて「大志を叫べー!」と題して、受講生全員が、今後の目標や地域活動への思いを高らかに宣言しました。

講評では、宇都宮大学准教授の石井大朗さん、有限会社フェードイン代表の工藤敬子さん、和田栃木県民生活部長から、受講生の今後の活動に対する期待とともに、温かいエールをいただきました。

最後は、それぞれの講座受講生や関係者を交えての交流会が行われ、地域活動に向けた情報を共有しました。短い時間の中だけではありましたが、様々な話題で意見交換が行われ、多いに盛り上がり、有意義な報告会・交流会となりました。

とちぎ女性就労支援事業

パーティチャレンジショップ

7~3月

とちぎ男女共同参画センターでは平成28年度より女性活躍推進の一環として、「自分のお店を持って商売をしてみたい!」という夢を持つ方や、起業にチャレンジしたい女性のため、実践を学ぶ場と起業に必要な情報等を提供する支援を行うための、「チャレンジショップ」を開設しました。今年度の開設期間は平成28年7月1日から平成29年3月31日までで、レストランスペースを2区画に分け、1期を3ヶ月間として、6名の女性がチャレンジしました。

着物・古布などをリメイクしたおしゃれなショップ（アンティーク工房）、丸太に囲まれた自然派カフェ（MARUTA cafe）、木育をテーマにしたコミュニティカフェレストラン（木育カフェHONTEN）、木育エコ雑貨・手作り品の販売、アロマやネイルサロン（morisama）など、順次特色のある様々なショップがオープン。お店を訪れた人は、その様々な商品やランチメニュー、そして各出店者との交流を楽しんでいました。

チャレンジした女性たちからは、「将来の起業に向けての参考となった」、「商売の大変さが身に染みましたが、とても貴重な体験をさせていただきました。」等、実際に営業を体験して得た感想が寄せられました。「チャレンジショップ」では、今後も女性の起業を後押しする有効な機会の提供と、チャレンジしたい女性を応援していきます。



▲賑わう店内の「木育カフェHONTEN」



▲癒しの個室空間「morisama」



企業等で活躍が期待されている女性を対象に、キャリア形成や意識改革を支援することを目的として毎年開催している本講座。今年度は初の試みとして、県央・県南の受講生たちが実際に女性活躍を推進されている企業を訪問、そのメリットや手法について学ぶべく、県内企業2社を見学してきました。

まず始めに見学したのは、日産自動車株式会社栃木工場です。男性が多い職場というイメージのある自動車業界で女性管理職の割合が9.1%（2016年4月時点）という日産では、専門の組織を作ってダイバーシティに取り組んでいます。在宅勤務制度の活用や、女性のキャリアアップ支援として様々なセミナーが開催され、社員それぞれが、ワーク・ライフ・マネジメントについて考える機会を得ているようです。

続いて見学したのは、化粧品メーカー、株式会社シーボン生産センターです。勤務する多くが女性ということもあり、女性が働きやすい職場づくりのための取り組みやイベントが多くありました。特に注目すべきなのは、「シーボン・ファミリー・デイ」です。女性が働きやすく、家族を大切にできる職場づくりを行うという目的で開催されています。社員がその家族に対し、仕事への理解を深めてもらうとともに、支えてくれていることへの感謝を伝える場となっています。また、育児や出産を経験していない社員が家族ぐるみで参加した先輩や同僚と交流することで、多くの気付きが得られるという仕組みになっていました。

参加した受講生からは、「多くの女性活躍に対する取り組みが聞けて貴重な体験となった」、「実際に現場で働いている方との意見交換会は有意義な時間でした」との感想が寄せられました。



▲企業の取組に耳を傾ける受講生たち



▲意見交換会の様子

メイクアップ健康法とスキンケア
~心身共に充実した日々のために~

2月

講師：株式会社シーボン取締役兼執行役員
三上 直子さん



▲受講生全員でツボ押しを実践しました!

化粧品は、ただ外面を美しく見せるだけではなく、老化現象の原因となる活性酸素を減少させたり、科学的にストレスを減少させたりといった、心理的・身体的にも高い効果を持っています。前半は、紫外線と日焼け止めの仕組み・塗り方の注意点など、紫外線から正しく肌を守り老化を防ぐための知識を学び、後半は鍼灸師の方から、老廃物排出を促進する美肌のツボと、花粉症に効くツボ押しの実践がありました。参加者からは「手入れは何歳からでも遅くない」という言葉に勇気づけられた」「自分でも出来る技術が学べた」といった声が寄せられました。

とちぎ女性地域交流会

12月

(12月20日 小山市 / 12月21日 那須塩原市)
コーディネーター：白鷗大学教授 堀 眞由美さん



▲様々な意見が飛び交い、会場を賑わせました!

地域活動に関心はあるけれど、なかなか一歩を踏み出せない女性を対象に、気軽に交流し合える場を提供し、地域活動への参加を促すことを目的に、県南会場と県北会場の2ヶ所で、とちぎ女性地域交流会を開催しました。

白鷗大学教授の堀眞由美さんの『再キャリア戦略』と題した講話の後、各会場3名ずつ、起業や子育て支援、防災など地域で活動している方による事例報告を行いました。

最後に、堀さんや報告者の方々にもご参加いただき、お茶をいただきながらの交流会(女子会)を実施。参加者からは「先生方の話は、とても楽しく、良い刺激を受けました」「色々な方々と知り合い、様々な話ができ、とても有意義な時間でした」との感想が寄せられました。

女性への暴力を考える講演会

『これってDV?ノーと言えるための基礎知識 ～「ブラック彼氏」を見抜くポイント～』

講師：弁護士法人フラクタル法律事務所 代表弁護士 堀井 亜生 さん



11月

具体的な事例を交えてのわかりやすい講演により、参加者はテーマにある「基礎知識」を十分に習得されたようで、アンケートでも9割近い高い満足度となりました。



▲堀井弁護士の講演を真剣に聞く受講生のみなさん

一見そうではないのに、結婚したらDVをするようになる人のことを「ブラック彼氏」と名付け、相手を見抜きトラブルを回避しようという話で、これまで多かった「DV被害に遭ってしまったらどうするか」という対処療法ではなく、予防の観点からの講演は新鮮であり、好評でした。

また、当事者たちを知る講師からは、「DV被害者本人は意外と被害認識が薄い」、「嫌いな夫と離婚したいから、わざと殴られようとする人がある」などの現状が紹介され、被害者も加害者も増やさないためには、社会全体でDVに関する正しい知識を身につけることが大切であるとの話がありました。



▲男女問題のスペシャリスト堀井弁護士

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、「女性への暴力を考える講演会」を開催しました。

今回はメディア等でも活躍中の弁護士、堀井亜生さんを講師に迎え、多数の離婚事件を取り扱った経験をもとに平成27年10月出版した「ブラック彼氏」恋愛と結婚で失敗しない50のポイント」の中身にも触れながら、講演をいただきました。

パーティキャリア塾

仕事に生かす！アドラー心理学 ～勇気づけセミナー

講師：アドラー心理学 勇気づけリーダー 産業カウンセラー 北村 優子さん

1月

受講者からは「一緒に学んだ仲間から刺激を受けて、多くの学びがあった」「仕事に生かせるヒントを得ることが出来た」などの声が多く聞かれる講座となりました。



▲失敗や欠点を、視点を変えてチャンスや長所に変える「リフレーミング」をグループでシェア

◇自分も相手も大切に作るコミュニケーション ◇ネガティブな行動の後ろに隠れているポジティブな目的 ◇人生の課題について、誰の課題なのか分けて考えることの必要性 ◇イライラした時、ありのままの自分の感情に目を向けることの大切さ ◇失敗だけに目を向けず視点を変えてみる

◇失敗だけに通じ、自分にも相手にも「勇気づけ」を与えられるように、グループワークを交えながら体感しました。



▲講師：北村 優子さん

失敗してしまった時や劣等感を持った時、人は過去にさかのぼって原因を追究したり、自分を責めたりしまいがち。アドラー心理学では、過去ではなく未来に向かって自分が何が出来たのかを考えることで、前向きになれるコミュニケーションについて学びました。

より前向きな未来を選択するため

めざせカジダン!

おすすめレシピ

10~12月、パーティの人気講座「男の生活工房」を開催!
第1回目「菜食健美のやさしい弁当」より、簡単レシピをご紹介します。



肉巻きおにぎり

●材料●(約5人分)

- ・ご飯…………… 1合分
- ・豚肉…………… 薄切りもも肉10枚
- ・サラダ油…………… 大さじ1
- ・焼肉のタレ…………… 大さじ4
- ・白ごま…………… 適量

◆作り方◆

- ①炊き上がったご飯を10等分の俵型に握り、肉で包む。
- ②フライパンに油を熱して、肉の巻き終わりを下にして入れ、転がしながら焼く。
- ③肉全体に火が通ったら、焼肉のたれを加えて絡めながら焼き、仕上げに白ごまを振る。

※この日は、肉巻きおにぎりの他に、きんぴらごぼう(めんつゆで炒めるだけ!)と卵焼きを作りました。



<カンタンひとくふう>

出来上がった卵焼きを斜めにカットし、切れ目を合わせるとハート形に!

講師:料理研究家 白居 芳美さん

「ワーク&ライフ デザインブック」を配布しています!



昨年6~7月に実施した「ワーク&ライフ デザイン講座」が冊子になりました。

高校生や大学生が、将来のワークライフバランスやライフデザインについて考えるために、記入式のワークシートや、学生の子育てインタビューの報告が掲載されています。

子育て家庭の両立ポイントは大人数にとっても読みごたえアリ! パルティホームページでもご覧いただけます!

<http://www.partijp/>

ち・い・き pick up!

県内で開催された催しや、団体などの活動を紹介します。

第11回S-PEC講演会 「『性の多様性』をどう伝えていくか」



埼玉大学
基盤教育研究センター准教授
渡辺大輔さん

S-PEC
(<http://s-pec.jimdo.com/>)

<S-PECとは>
Sexuality Peace Equality
Communityの略
LGBT等性的マイノリティの当事者とその家族・友人による、すべての人にとってより良い社会を目指す非営利団体

12月4日、宇都宮大学で第11回S-PEC講演会「性の多様性」をどう伝えていくか」が開催されました。主催団体のS-PECは、性同一性障害(性別違和)の子をもつ親たち・当事者・支援者等によって設立された団体です。

自らの性に違和感を持つ当事者や家族は、様々な問題や悩みを抱えています。S-PECは、彼らに寄り添い互いに助け合いながら、多様な「性」についての理解を社会全体へ広めようと、講演会や交流会、相談事業などを行っています。代表の佐藤さんは、「なかなか思うように活動が進まないことも多いけれど、一歩でも半歩でも進むことで、障害のあるなしにかかわらず、誰にとっても生きやすい社会になって欲しい」と願い活動されています。

設立10周年を迎えた今年には、埼玉大学准教授の渡辺大輔さんを迎え、教育の現場で「性の多様性をどう伝えるか」についてお話がありました。私たちには、自分でも無自覚に様々なジェンダー・バイアスが根付いていること、教師の何気ない振る舞いや言動が、「性」についての偏見を子どもたちに植え付けてしまう「隠れたカリキュラム」などについて学びました。

渡辺さんは、「LGBT」や「性的マイノリティ(少数派)」についてだけ学ぶ、という考えは持つて欲しくない」と言います。「性的にマジョリティ(多数派)であっても、多種多様に存在する『性』の中では一種類にすぎない。マイノリティ・マジョリティにかかわらず、誰もが『自分の性』について考え、学んでいける環境作りが必要だ」と、おっしゃっていました。

こんにちは
相談ルームです。



「安心して相談できる窓口を目指して」 「トラウマ」を乗り越えるために

『トラウマ』とは、『精神的外傷』という意味です。『トラウマ』体験となる出来事には、事故や災害、犯罪被害、虐待、DVなどがあります。このような出来事を目撃することや、知ることでも『トラウマ』体験になります。『トラウマ』は、目に見えず、言葉にならないにくいものだとされています。

誰しも危機的な出来事にあえば、心身に影響が出るのは当然です。問題なのは、安全や信頼が揺らぎ、今までになかったような感覚や感情に悩まされ、生活への支障が続くことです。

まずは、安心して生活できるようにすることがとても重要です。しかし、自分で何とかしようとしても身動きがとれず、安全や尊厳が脅かされていると感じたら、どうすればいいでしょうか。

本来、人には困難に立ち向かう力が

備わっているはずですが、一人で対処できないような状態に陥ってしまうことがあるかもしれません。そのような時には、誰かの力を借りることも必要となるでしょう。

相談ルームは、さまざまな悩みを持つ方が安心して相談できる窓口を目指しています。相談される方と一緒に考え、その方に必要な情報をわかりやすく伝えられるように、日々心がけています。

解決できない問題であっても、心の中に押し込めた気持ちを話すだけで、つらさが和らぐこともあります。どうぞ、お気軽に相談ルームを利用してください。

お問合せ

※いずれも祝日・年末年始はお休みです

◆女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時

土曜日・日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆女性のための健康相談(面接)

毎月 第1木曜日

16時30分～18時30分(予約制)

☎028-6651-8720

◆男性のための電話相談

毎週 月曜日・水曜日

17時30分～19時30分

☎028-6651-8724

不妊専門相談センターから

不妊治療費の負担軽減に向けた動き

不妊治療のうち、特定不妊治療(体外受精、顕微授精)は健康保険が適応されず医療機関によって治療費が異なり、一度の治療費が30～50万円と高額です。また治療をすればすぐに妊娠するわけではなく、何度か治療を繰り返すことも少なくありません。当センターには、「仕事を辞めて治療に専念したいが治療費捻出のために辞められない」「治療を続けたいが経済的にあと1回しか受けられそうにない」といった費用に関する相談が寄せられています。

特定不妊治療の治療費に対しては、平成16年から広域健康福祉センターを申請窓口とした国の公的助成が開始され、申請件数は年々増加しています。平成28年からは初回助成額の上限を引き上げるとともに、男性不妊の手術に対し助成額の上乗せを開始するなど、助成を拡充しています。さらに、これとは別に、県内各市町で独自の助成を行っているところもあります。

また、企業の中には、働きながら不妊治療を受ける従業員のために、両立



しやすい環境を整えるべく、休暇・休業制度を導入したり、治療費の補助を行っているところもあります。さらに、治療費の一部を保障する保険の発売を開始した保険会社もあります。

このように不妊治療費の負担軽減に向けた取り組みは拡充されており、最新の情報を確認することが大切です。ご不明な点はぜひご相談ください。

●特定治療支援事業の申請・問合せ先住所を管轄する広域健康福祉センター
宇都宮市子ども部子ども家庭課
県のホームページもご参照ください。
(<http://www.pref.tochigi.lg.jp>)

お問合せ

※いずれも祝日・年末年始はお休みです

●助産師による相談

火曜日～土曜日・第4日曜日

10時～12時30分、13時30分～16時

*専門医師による相談やおしゃべりサロンも行っています

専用電話：028-6651-8069

Eメール相談

funin.fuiku-soudan@part.jp

パーティの情報ライブラリーから 本の紹介

パーティには約20,000冊の図書があり、
ホームページからも検索・予約できます。
ぜひご利用ください。 <http://www.parti.jp/>

徹底調査

子どもの貧困が日本を滅ぼす

日本財団子どもの貧困対策チーム【著】
(文藝春秋)

6人に1人の子どもが貧困という日本社会。
子どもの貧困は「かわいそう」などとい
う感情的な問題だけではなく、私たち一人
ひとりの生活を直撃する重大な社会問題な
のです。

本書では、データ分析や国内外での取り
組み事例の紹介に加え、生活保護世帯、児童養護施設、ひとり親
家庭の当事者たちへのインタビューを収録。日本が取るべき対策
にまで踏み込んだ一冊。



女性白書2016

日本婦人団体連合会【著】
(ほるぷ出版)

2016年版の女性白書では『一億総活
躍社会と女性』をテーマに、改めて女性
と平和、女性差別の現状をとらえ直しま
す。統計や各種資料も充実。



子どもを守る防災手帖

MAMA-PLUG【著】
(KADOKAWA)

東日本大震災、熊本地震ほか、全
国各地で頻発する災害でママたちに
何が起こったか。

被災ママの経験に学ぶ、子育て世
代に本当に必要な対策をこの1冊で!
書き込みながら備える、別冊ワーク
ノート付き!



イーラちゃんはおうさま

しまだ ともみ【作】
(偕成社)

イーラちゃんはあさからずっとイラ
イラ。「おへやをかたづけないと、お
やつぬき」ってママにしかられたん
です。「あーあ、おうさまだったらそん
なことしないでいいのに。よし、お
うさまになっちゃおうっと!」そう、
イーラちゃんにはおうさまになったらやりたいことがやまほど
あったんです!

伸びやかな子どもの想像世界を軽快なテンポで楽しく描く。
元気はつらつで、ちょっときかんぼうな女の子のシリーズ。
著者は日光市出身です。



おすすめDVD

情報ライブラリー所蔵の映画や、女性監督作品、話題の映画などを紹介します。

「私の生 (いのち) はわたしのもの」2016年

制作・配給：認定NPO法人 ウィメンズハウスとちぎ

明治時代に極貧の生活を助けようとして海外に渡り売春婦として働いたか
らゆきさん、1980年代には海外の貧しい国から日本にやって来たジャバゆ
きさん。女性たちの生 (いのち) は売られ続けてきた。そして、現代、性買
春の実態は見えにくくされ、女性の性は様々な仕組みで搾取されている。女
性運動家たちが闘いとった『売春防止法』制定から60年。女性の人権と暴力
被害者支援に取り組んできたウィメンズハウスとちぎの朗読・映像劇。

(このDVDはパーティのライブラリーで視聴できます。)



こちらのDVDは「女性の人権」「女性の暴力」な
どの講座の啓発資料や話題提供に使っていた
朗読劇です。収益は暴力被害女性の自立支援
に使わせていただきます。購入を希望される方は
下記までご連絡ください。(上映権付 ¥5,000)

お問合せ先
ウィメンズハウスとちぎ事務局
TEL&FAX:028-621-9993
E-mail:uimens777@iris.ocn.ne.jp



お申込み・お問い合わせは…

電話・FAX・ホームページ、または直接ご来館にて。
ホームページ <http://www.parti.jp/>

P14の講座 県とちぎ男女共同参画センター
TEL 028-665-8323
FAX 028-665-8325



P15の講座 (公財)とちぎ男女共同参画財団
TEL 028-665-7706
FAX 028-665-7722

パーティ 検索

4月5日(水) 9:00～ 受付中

男女共同参画地域活動推進講座



あなたの一歩が地域を変える!

●開催日・内容

- ① 7/15 (土) イマドキの男女共同参画
- ② 9/ 9 (土) ファシリテーション
- ③ 10/ 7 (土) パルティ防災プログラムを体験
- ④ 10/28 (土) シンポジウム・交流会

※人権・青少年男女参画課主催「男女共同参画地域活動表彰式」と合同

●時 間：13:00～16:00

●会 場：①④パルティ
②那須塩原市
③小山市

●対 象：男女共同参画地域推進員、地域で男女共同参画を推進することに意欲のある方等

●定 員：各回30名程度

●受 講 料：無料

●申込締切：各回先着順

●保育締切 ①6/30 (金) ④10/13 (金)

●申 込 先：栃木県男女共同参画推進員の方はお住まいの市町男女共同参画担当窓口、それ以外の方は当センターまでお問い合わせください。

※①～④は1講座のみの受講ができます。



不妊専門相談センター「おしゃべりサロン」

同じ悩みを持つ人に“会いたい”“聞きたい”“話したい”
という方たちの集まりです。

●開催日・テーマ

- ① 4/15 (土) 不妊に悩む女性
- ② 5/20 (土) 流産に悩む女性
- ③ 6/15 (木) 二人目以降の不妊に悩む女性
- ④ 7/ 8 (土) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性
- ⑤ 8/27 (日) 一人目不妊に悩むカップル

進行：不妊専門相談センター相談員

●時 間：①②④⑤は13:30～15:30
③は10:00～12:00

●対 象：不妊・流産に関連した悩みを持つ女性

●定 員：10名程度

●受 講 料：無料

●申込締切：各開催日前日

※お申込みは栃木県不妊専門相談センター (028-665-8099) までお願いします。



平成29年度 前期講座のご案内

一時保育あり

対象講座と月齢(年齢)はこのマーク!

満6か月～未就学児



1歳～未就学児



男女共同参画セミナー 県民講座



知りたい! 私たちのこれから。
考えたい! 私たちにできること。

●開催日・テーマ・講師

① 5/27 (土)

すべての人が共に活躍する社会へ
～日本とフランスの比較から学ぶ多様なライフスタイル～

上智大学外国語学部フランス語学科名誉教授 ジョリヴェ ミュリエル

② 6/10 (土)

講談で学ぶ女性活躍の歴史
～あなたの未来を上げるために～

講師 宝井 琴桜

③ 7/22 (土)

新しい家族のカタチ
～主夫芸人が語る“シュフ業”のこと～
主夫芸人 中村 シュフ



「m 社会をカエルちゃん

●時 間：各回 13:30～15:30

●対 象：どなたでも

●定 員：各回100名

●受 講 料：無料

●申込締切：各回先着順

●保育締切：①5/12 (金) ②5/26 (金) ③7/7 (金)

※1講座だけの受講もできます。

とちぎウーマン応援塾(全6回)



女性(わたし)の想いをカタチにしよう!

●開催日

- ① 7/8 (土) ② 7/29 (土) ③ 8/25 (金)～8/26 (土)
- ④ 9/2 (土) ⑤ 9/16 (土) ⑥ 10/28 (土)

●時 間：①②④⑤10:00～15:00
③県外研修 ⑥10:00～16:00

●対 象：審議会や自治会等の社会的な場に参画する意欲のある女性、自ら一歩を踏み出したいと考えている女性

●定 員：20名(選考あり)

●受 講 料：無料

●募集期間：4/5 (水)～6/2 (金) 保育申込みも同日締切

●申 込 先：お住まいの市町男女共同参画担当窓口・当センター
詳しくは、当センターまでお問い合わせください。



サボテン (情熱・秘めた熱意)

マドレボニータの「産後の心と体のセルフケア」

6月コース (全2回) 9月コース (全2回)

子育てには、母の心と身体の健康が必要です!

●開催日・内容・講師

【6月コース】 ①6/15 (木) ②6/22 (木)
【9月コース】 ①9/7 (木) ②9/14 (木)

バランスボールを使った有酸素運動、コミュニケーションスキル、日常でできる具体的なセルフケアを学びます。

NPO法人マドレボニータ認定 産後セルフケアインストラクター 佐藤 直子

●時 間：10:00～12:00

●対 象：産後2カ月以降 (産後は何年まででもOK) の女性
生後6カ月未満の赤ちゃんは同伴で参加可能

●定 員：14名 ※定員を超えた場合は抽選 ●受 講 料：2,000円

●申込締切：6月コース 5/16 (火) 9月コース 8/8 (火)



女性のための こころのケア講座(全12回)

DVやパワハラ、セクハラなどの経験によるこころの傷つきについて考え学んでいく講座です。

●開催日・内容・講師 ※⑦～⑫は後期実施

①5/25 (木) DV・トラウマを理解する
②6/8 (木) 「世間の枠」と私らしさ
③6/29 (木) 身体的暴力・性暴力
④7/27 (木) 精神的暴力・モラルハラスメント
⑤8/24 (木) トラウマに対応するツール
⑥9/28 (木) 傷つきによる喪失とグリーフ



認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラー 藤平 裕子

●時 間：10:00～12:00

●対 象：女性 (暴力経験の有無を問いません。当事者の家族や支援者の女性もどうぞ)

●定 員：15名 ●受 講 料：各回500円

●申込締切：各回先着順 ●保育申込締切：各回3週間前まで

※途中回からの参加、1回のみ参加も可能です。

ポジティブ・ディシプリン講座

～がんばりすぎない前向きな子育て (全3回)

イライラしたり、どなってしまうたり…ひとりで子育てががんばりすぎていませんか? 子育てストレスを軽くし、楽な気持ちで子育てに向かう方法を一緒に考えましょう。

●開催日・内容・講師

①7/6 (木) ②7/13 (木) ③7/20 (木)

1. 長期的なゴール(大人になったとき、こうあってほしい)を考える
2. 温かさ(支え)と枠組み(情報やガイド)を与える(なぜダメなのか、どうすればいいのか説明する)
3. 発育段階に応じた子どもの気持ちを理解する
4. 課題解決型の手法を取る(今日の課題は今日解決)

マリンダス代表 看護師 子育て相談員 落合 香代子

●時 間：10:00～12:00

●対 象：未就学児の母親、父親、祖父母、子育て支援者

●定 員：30名 ●受講料：3,000円

●申込締切：6/9 (金)



女性と子どものための護身術 ～WEN-DO～

親子クラス(午前) 女性クラス(午後)

女性、子どもの力でいざという時に自分を護る一危険な場面を回避する方法や、現場からとにかく逃げて助けを求めする方法を学びます。

●開催日・内容・講師

7/22 (土)

①講義 護“心”術 (暴力に気づく、避ける/自分を大切にするには)

②実技 護身術 (行動を起こす/体の中の急所、防衛の方法、手首をつかまれた時のはずし方など)

リアライズYOKOHAMA代表 橋本 明子

	親子クラス	女性クラス
時 間	10:00～12:00	13:30～15:30
対 象	小学校1年生～3年生の児童と女性の保護者	小学校4年生以上の女性 (小学生は女性の保護者と一緒にご参加ください)
定 員	10組 (20名)	20名
受 講 料	小学生500円 大人1,000円	1,000円 (小・中・高校生は500円)
申込締切	6/22 (木) ※保育締切同日	



女性のためのファイナンシャル・プランニング

技能検定3級 試験準備講座 (全14回)

FP3級取得を目指す実践的講座です。保険や税、年金の仕組み、資産運用について知りたい方も。

●開催日・講師 栃木県ファイナンシャル・プランナーズ協同組合

①5/26 (金) ②6/2 (金) ③6/9 (金) ④6/16 (金) ⑤6/23 (金)
⑥6/30 (金) ⑦7/7 (金) ⑧7/14 (金) ⑨7/21 (金) ⑩7/28 (金)
⑪8/4 (金) ⑫8/25 (金) ⑬8/30 (水) ⑭9/1 (金)

●時 間：10:00～12:00 ●対 象：女性 ●定 員：30名

●受 講 料：14,000円 (別途教材費5,000円程度)

●申込締切：5/10 (水) ※保育締切同日

※試験日は9/10 (日) です。受験希望の方は、別途受験料6,000円が必要です。受験申込みについては、6月頃講座の中でご案内する予定です。



イクメン応援講座 (全3回)

仕事も子育ても充実させたいパパを応援! パートナーと一緒に、産後ケアや働き方、子育てについて考えます。

●開催日・テーマ・講師

①7/1 (土)

夫婦で学ぶ産後ケア～産後クライシスを乗りきろう!

産後エクササイズ体験、産後クライシスとは など

NPO法人マドレボニータ認定 産後セルフケアインストラクター 吉田 紫磨子

②7/15 (土)

【夫婦で考える「生きる力」を育む子育て】

夫婦で子育てでのビジョンの明確化、夫婦間コミュニケーション、生きる力を育む子育てとは など

ロジカル・ペアレンティングLLP代表 林田 香織

③7/29 (土)

パパの働き方革命～ワークライフマネジメント実践講座

「育キヤリ」という新しい働き方、ワークライフマネジメント、家事・育児シェアの秘訣 など

東し経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部 上席シニアコンサルタント 塚越 学

●時 間：13:00～15:30

●対 象：未就学児のいるカップル、出産を予定・希望しているカップル

●定 員：30名 (15組)

●受 講 料：無料 ●申込締切：6/1 (木)



パソコン講座 再就職に向けたスキルアップを応援します!

※各講座とも定員20名 ※教材費別途 ※研修環境 Windows7、Office2010

	エクセル・ワード基礎編 (全6回)	エクセル初級編 (全5回)
開 催 日	6/21 (水)～23 (金)、28 (水)～30 (金)	10/12 (木)、17 (火)、19 (木)、24 (火)、26 (木)
内 容	エクセルでは簡単な表作成やSUM関数など、ワードでは文書作成	基本操作の復習、COUNTA、RANK関数などデータベース機能の学習
時 間	10:00～12:00	
対 象	マウス操作と文字入力可能な方	基礎編修了者、または関数を用いた四則演算、表作成ができる方
受 講 料	7,000円	
申 込 締 切	5/23 (火)	

※上記は講座内容の抜粋です。詳しい講座内容については、パーティ・公共機関で配布している「講座案内 (A3サイズ)」や各講座チラシでご確認ください。(ホームページでもご覧いただけます)

栃木県女性団体連絡協議会 設立30周年記念式典・交流会

- 開催日時：平成29年4月21日(金)
13:00～13:20 式典
13:30～14:20 トークショー
14:20～15:00 交流会(参加者)
- 主催：栃木県女性団体連絡協議会
- 会場：パーティ とちぎ男女共同参画センター ホール
- 内容：栃木県女性団体連絡協議会は1988年に設立以来、女性の地位向上から男女共同参画へと先輩女性たちの活動を引き継ぎ現在に至っています。この間、とちぎ男女共同参画センター設立の原動力となり、また、県委託事業の開催や女性団体活動促進事業などを毎年行っています。
- 対象者：どなたでも ●参加費：無料
- お問合せ：栃木県女性団体連絡協議会 事務局
TEL・FAX 028-665-7710
(電話対応は火・木10:00～16:00)

男女共同参画社会を考える “とちぎ県民のつどい”

- 開催日時：平成29年6月24日(土)
10:00～12:00 活動団体の発表
13:00～13:20 式典
13:30～15:00 江川紹子さん講演会
「文化を変える、ということ」
- 会場：パーティ とちぎ男女共同参画センター ホール
- お申込み：栃木県女性団体連絡協議会 事務局
TEL・FAX 028-665-7710
(電話対応は火・木10:00～16:00)
栃木県人権・青少年男女参画課
TEL 028-623-3074
(土日祝除く、8:30～17:15)



江川 紹子さん
(ジャーナリスト)

女性の就職を支援しています！

女性のための就職相談窓口では、仕事選びから応募書類の作成・面接対応まで、仕事についての悩みを相談員がサポートします。悩んだら一人で抱え込まずに、まず、お電話ください。

- お問合せ： 電話相談・面接相談
毎週水曜日 9時～12時
13時～16時
☎028-665-8724
- 〈面接相談は要電話予約
予約専用
☎028-665-8323
火曜日～土曜日 9時～16時



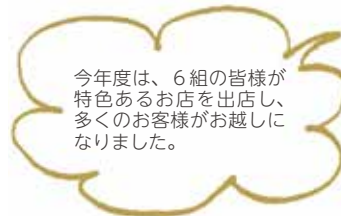
女性の相談員が
相談をお受けします。

※ 祝休日、年末年始はお休みです。

「平成29年度チャレンジショップ」 5月にオープン！

とちぎ男女共同参画センターでは、「自分のアイデアを活かした商品を販売してみたい」など、夢を持って起業を目指す女性を支援するため、今年度に引き続き平成29年5月からチャレンジショップをオープンします。

商品等の販売やカフェ・レストランなどの出店を予定しておりますので、パーティにご来館の際は、ぜひお立ち寄りください。



今年度は、6組の皆様が
特色あるお店を出店し、
多くのお客様がお越しに
なりました。



▲平成28年度チャレンジショップ
[MARUTA cafe]



パーティ とちぎ男女共同参画センター

- 開館時間/9:00～21:00(日曜日は17:00まで)
- 休館日/毎週月曜日
国民の祝日
12月29日～1月3日
- 施設のご利用/会議・イベント等にご利用ください。(有料)
- 利用お申込み/窓口受付時間9:00～17:00
ホームページで各研修室等の予約状況をご覧いただけます。
(閲覧のみ)

- 情報誌のご意見・ご感想をお寄せください
- 編集・発行/公益財団法人とちぎ男女共同参画財団
〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1
TEL.028-665-7700(代) FAX.028-665-7722
※おかけ間違いのないよう、お願いします。

- URL/http://www.parti.jp/
- 表紙作者/よしこSUŪ
- 印刷/株式会社井上総合印刷

